

## 株式会社 KOSKA

技術分野

IoT・AI

技術キーワード

原価管理、IoT、SaaS

所在地	[本社] 〒105-0013 東京都港区浜松町二丁目2番15号 [都内所在地] 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀2-29-15 DECKs301				
資本金	3,000万円	従業員数	20名	設立年(西暦)	2018年
主要事業	原価管理自動化サービス「GenKan」の企画・開発・提供 「生産実績データの取得」と「実際原価計算」と「原価分析」を全て一気通貫に自動で行い 製造現場の実態を金額で見える化する、IoT×SaaSサービス				
Webサイト	https://www.koska.jp				
連絡先(部署・氏名)	取締役 営業統括責任者 樋口 海				
TEL	080-8881-8228	Eメール	k.higuchi@koska.jp		
得意な技術・製品	主力製品: GenKan IoT: 3種のセンサーによる製造現場のデータ収集の自動化 SaaS: IoTデータを利用したリアルタイム原価計算ソフトウェア 原価分析: 日本原価計算研究学会での長年に渡る研究成果を反映				
得意な顧客・市場分野	製造業(主に自動車部品・金属・電子)				
生産拠点・研究体制	自動車部品メーカー様と協業しIoTセンサーの開発に取り組む 日本原価計算研究学会理事尾畑弘氏をアドバイザーに迎え、理論の研究に取り組む				
特記事項(取得資格・認証等)	日本原価計算学会賛助会員、IVI実装会員				

## PR詳細



製造現場の実態を  
金額で見える化。

現場の生産量や稼働状況に応じた  
実際原価を日々更新



## ■原価管理の「GenKan」特徴

## 1. 実績データ取得の自動化 ～現場のオペレーションを増やさず簡単データ取得～

製造業の現場では、現場スタッフの日報作成業務や生産データ入力、ストップウォッチ測定など製造工程に関係無い間接業務により稼働が逼迫し生産性が下がっています。「GenKan」はセンサーやカメラを取り付けることでサイクルタイムを取得し、実績データ取得の自動化を実現します。センサーはリアルタイムにタイムスタンプを取得するため、実績データをリアルタイムで把握することができます。このように、データ取得が自動化されることにより、原価管理業務は大幅に省力化され、取得したデータの活用により生産性向上にも寄与します。

## 2. 実際原価計算の自動化 ～生産データと原価データを自動接続しリアルタイムに原価計算～

現状の管理会計では、「当月収支は翌月末にしか把握出来ない」、「四半期の収支は翌四半期が始まってからじゃないとわからない」という、リアルタイム性に欠ける収支管理となっております。これは実際原価を把握出来ていないことに起因し、適切な打ち手を適切なタイミングで出来ないという事態が生じています。「GenKan」は、センサーから取得したデータや蓄積されている生産管理データを用いて、工場・製品・ライン・工程といった粒度で現場の生産量や稼働状況に応じた実際原価を日々更新するため、毎日収支管理することが出来ます。販売価格を設定することで実際原価との比較が可能になるため、黒字・赤字も瞬時にわかります。日々決算を行うことができ、問題が生じたときに迅速に対応することが可能となります。

## 3. 原価分析の自動化 ～現場が見てわかる実現可能かつ効果的なカイゼンを自動で提案～

現在のIoTシステムでは機械のモニタリングやサイクルタイム・中断時間の把握しか出来ておりません。そのため、取得したデータを使ってカイゼンに取り組もうとしても、結局サイクルタイムや中断時間を短くするという昔から変わらぬ時間の短縮にしか取り組めていないのが現状です。また、生産管理ソフトや管理会計ソフトは計算を行うだけで、要因分析や差異分析には弱いという欠点があります。「GenKan」は取得した実際原価データから差異分析および要因特定を自動化し、工程単位の実際原価を可視化します。分析ダッシュボードや定期レポートによって、経営状況を金額で見える化します。カイゼンすべき点の優先順位を金額で示し、目標とする理想の原

## 技術アピールシート

価の設定も自動で行うため、適切な KPI を簡単に設定することができます。分析から導き出されたカイゼン前後の効果も金額で検証することが出来るため、カイゼンの無駄を洗い出すことも可能です。

---